

環境活動レポート

平成29年度

(対象期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成 30 年 5 月 31 日 発行



リ・パレット株式会社

承認 代表者	作成 環境管理 責任者
H30.5.31	H30.5.31

1. 会社概要(平成30年4月1日現在)

(1) 会社名

リ・パレット株式会社

(2) 代表者

代表取締役 關 秀一

(3) 役員

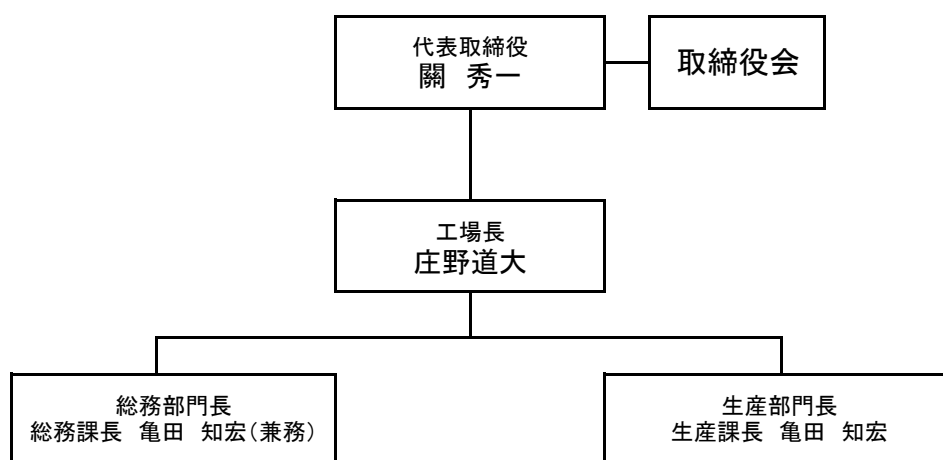
取締役 關 正美

取締役 川又 豊

取締役 高橋 由加

監査役 猪股 敦

(4) 組織図



(5) 創立

平成17年5月2日

(6) 資本金

5,000万円

(7) 所在地

〒293-0011 千葉県富津市新富87-2

電話 0439-80-1555

FAX 0439-87-1923

Eメール re-pallet@re-pallet.co.jp

(8) 会社履歴

平成17年5月 設立

平成19年4月 操業開始 現在に至る



↑ PE・PP混合減容品 ↓ パレット



(9) 事業内容

一般廃棄物中間処理・再生、再生樹脂を原料としたプラスチック成型品の製造・販売

(10) 事業規模

- ① 売上高 1,118 百万円 (平成29年度)
- ② 従業員 42 名 (平成30年4月1日現在)
- ③ 工場棟(事務所を含む) 7,723 m²
- ④ 工場敷地 15,000 m²
- ⑤ 処理能力 プラスチック再生処理能力 76.8t/日(23,424t/年)

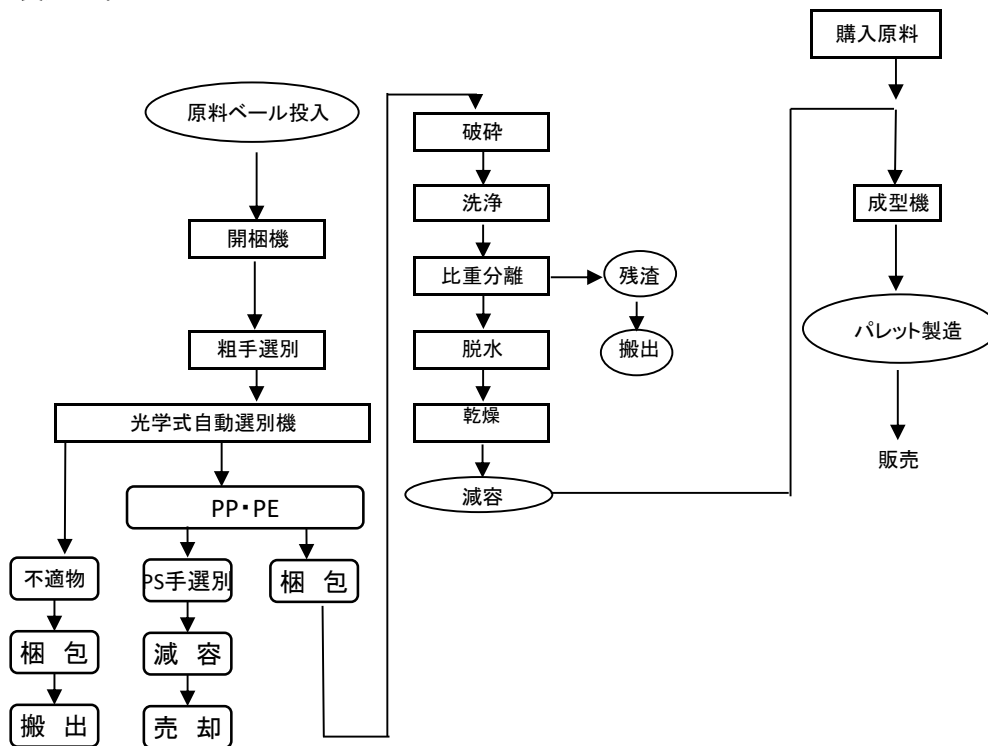
(11) 許可内容

一般廃棄物処理施設の設置許可	千葉県知事許可第17-7号
許可年月日	平成18年3月23日
許可品目	その他プラスチック製容器包装

(12) 保有車両・重機

- | | |
|-------------|-----|
| 乗用車 | 1 台 |
| フォークリフト(電動) | 4 台 |
| フォークリフト(軽油) | 5 台 |
| 2tトラック(軽油) | 1 台 |

(13) 製造工程



(14) 処理実績(平成29年度)

①搬入廃プラスチック量	11,710	t
②PP・PE減容品生産量	5640	t
③パレット生産量(枚数)	5,833	t (309,314 枚)
④パレット用原料購入量	499	t

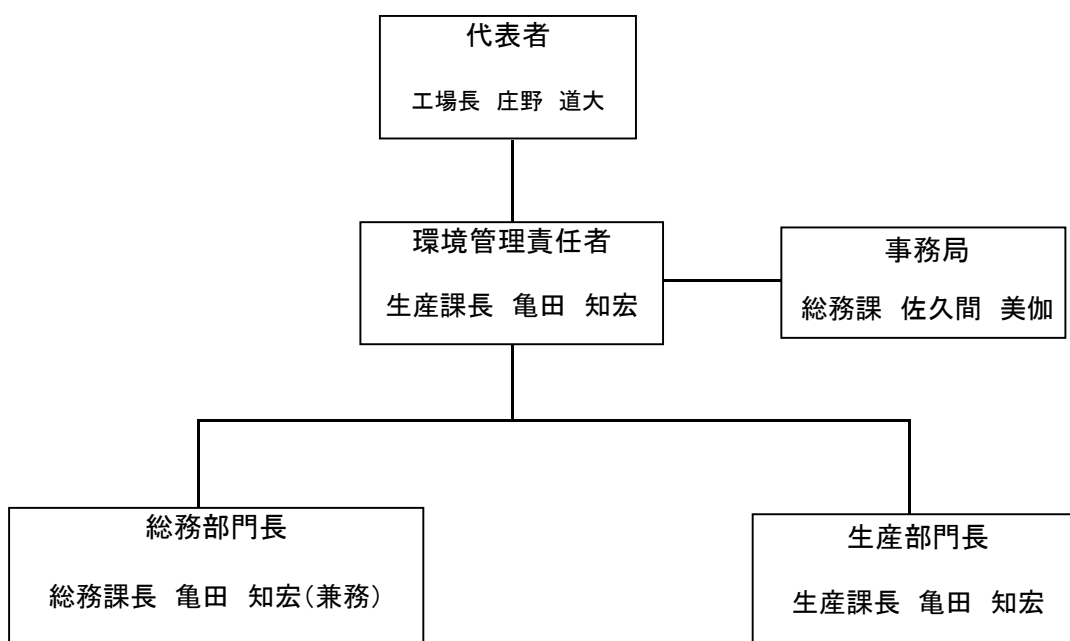
(15) 処理料金

日本容器包装リサイクル協会の委託業務のため、該当しません。

(16) 地域融和活動

工場周辺の清掃や、各自治体(取引先)で製品(パレット)及び事業活動のPRの実施。

(17) 環境管理組織



(18) エコアクション21 認証範囲

認証・登録番号 : 0005103

認証・登録年月日 : 2010/06/17(平成22年6月17日)

認証・登録事業者名 : リ・パレット株式会社

対象事業所 : 事務所・工場

所在地 : 千葉県富津市新富87-2

事業活動内容 : 一般廃棄物処理・再生、再生樹脂を原料とした
プラスチック成型品の製造・販売

(19) 環境管理責任者・担当者および連絡先

責任者 環境管理責任者 : 生産課長 亀田 知宏

担当者 事務局 : 総務課 佐久間 美伽

電話 0439-80-1555

FAX 0439-87-1923

2. 環境方針

環境方針

基本理念

リ・パレット株式会社は、廃プラスチック再生資源化事業者及び廃プラスチックを原料としたパレットの製造事業者として、循環型社会形成の中核を担うべきものと自覚しています。

事業活動にあたっては、全従業員が地域環境、地球環境との関わりを深く認識するとともにEA21環境経営システムを導入し、公害防止、環境保全、継続的な環境負荷の軽減に取り組みます。

基本方針

当社は基本理念のもと、関係法令を遵守し、次の事項を自主的、積極的に取り組むと共に定期的な見直し、システムの継続的な改善に努めます。

1. 受託した廃プラスチックの再資源化と品質の向上、廃棄物の削減に努めます。
2. 当工場で排出する産業廃棄物の再利用等について調査研究に努めます。
3. 機械設備の効率的な稼動に努め、電気、ガス、水等の節減に努めます。
4. 設備の更新、改善はエネルギー消費効率に優れ効率的に使用できるものを採用します。
5. 工場見学者を積極的に受入れ、プラスチック容器等の再資源化等について啓蒙活動に努めます。
6. 事務所でのグリーン購入の推進、電気、ガス、水道、紙の使用節減及び廃棄物の削減等エコオフィス活動を推進します。
7. 社用車、フォークリフトの「エコ安全ドライブ」を推進します。
8. フォークリフト(軽油)の電動化を推進します。
9. 工場内緑地の環境保全に努めます。
10. 従業員の自転車通勤を奨励し、自転車通勤者を増やします。
11. 4S+1Sを徹底します。
12. 環境方針を全従業員に周知し、その達成に努めます。
13. 環境活動レポートは一般に公開します。



制定：平成22年1月25日

改訂：平成30年5月7日

リ・パレット株式会社

工場長

庄野道大

3. 環境負荷の実績

平成27年度から平成29年度の、環境負荷実績は表-1のとおりです。

表-1

環境への負荷		単位	27年度	28年度	29年度	
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素 ※1	kg-CO2	2,668,236	3,808,729	4,015,783	
②受託した一般廃棄物の処理量	収集運搬量	t	6,228	11,549	11,710	
	中間処理量	t	6,288	11,549	11,710	
	うち再資源化等量	t	3,170	5,692	5,640	
	最終処分量	t	0	0	0	
	中間処理後の産廃等の処分量	t	8,473	12,125	10,702	
③廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再生利用	t	1.03	1.01	1.60
		焼却	t	2.32	2.06	1.90
		最終処分量	t	0	0	0
	産業廃棄物	再生利用	t	3,313	6,241	6,325
		焼却	t	80	121	97
		最終処分量	t	0	0	0
④-1総排水量	公共用水域	m ³	0	0	0	
	下水道	m ³	36,735	55,004	73,062	
④-2水使用量	上水	m ³	342	461	724	
	工業用水	m ³	36,682	61,388	69,481	
	地下水	m ³	0	0	0	
⑤化学物質使用量		kg	0	0	0	
⑥エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	48,826,888	69,808,964	73,489,965	
	化石燃料	MJ	526,819	653,765	777,621	
	新エネルギー	MJ	0	0	0	
	その他	MJ	0	0	0	
⑦物質使用量 (投入ペール、改質剤、パレット他社材)	資源使用量	t	8576	12,072	12,111	
	循環資源使用量	t	0	0	0	
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t	0	0	0	
	水の利用量	m ³	0	0	0	

※表-1内の二酸化炭素排出係数は平成26年12月5日環境省発表平成25年実排出係数0.530kg/kwh(東京電力)を使用

4. 今後の環境目標と計画(27年度~29年度の中期目標)

基準年より今後3か年の中期目標は次の通りです。

平成27年5月1日改訂

項目		基準年 (平成26年度)	中期目標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
二酸化炭素の削減 kg-CO2		2,387,061	4,494,024	2,704,517	4,086,563	4,494,024	
投入量 (t) (原料ペール)		5,156	10,000	6,000	9,000	10,000	
電力節減 (kWh)		865	839	856	848	839	
		原単位(kWh/t)	3%	1%	2%	3%	
		4,459,680	8,390,500	5,138,100	7,629,300	8,390,500	
化石燃料	ガソリン (ℓ)	1110	1%	1%	1%	1%	
			1099	1,099	1,099	1,099	
	軽油 (ℓ)	1.53 原単位(L/t)	1.48	1.51	1.50	1.48	
			3%	1%	2%	3%	
			7,897	14,841	9,088	13,495	14,841
	LPガス (m3)	43	1%	1%	1%	1%	
42.6			42.6	42.6	42.6		
水資源節減	上水 (m3)	446	1%	1%	1%	1%	
			442	442	442	442	
	工業用水 (m3)	9.48 原単位(m3/t)	9.48	9.48	9.48	9.48	
			維持	維持	維持	維持	
		48,867	94,800	56,880	85,320	94,800	
産業廃棄物減 (t)		0.56 原単位(t/t)	0.543	0.554	0.549	0.543	
			3%	1%	2%	3%	
		2,854	5,432	3,326	4,939	5,432	
一般廃棄物減 (t)		5.1	維持	維持	維持	維持	
			5.1	5.1	5.1	5.1	
グリーン購入比率		75.9%	78.2%	76.7%	77.4%	78.2%	
			購入比率増加率	3.0%	1.0%	2.0%	3.0%

5. 主な環境目標とその実績

(1) 環境目標の設定・実績評価

環境目標は事務所と工場に分けて設定しました。

[事務所]

環境目標	単位	26年度	29年度			実績評価等
		基準値	目標値	実績値	目標値比	
二酸化炭素の削減 <small>※この二酸化炭素の値は全社のものです</small>	kg	2,333,545	4,494,024	4,015,783	89%	空調の使用等、季節によって使用量が大幅に増える月もあるので、設定温度を守るなどして次年度も削減に努める。
一般廃棄物の削減	t	5.1	5.1	3.5	68%	分別を徹底し、廃棄物の抑制に努めた。
電力の節減	kWh	130,008	128,708	174,267	135%	事務所棟の電力の使用量(特に夏期、冬期)が多かった。エアコンフィルターの清掃をこまめに行う、設定温度を管理する等、対策を考える。
LPガスの節減	m ³	43	43	214	502%	季節によって使用量の差が大きいため、次年度は月ごとの目標値を設定し、削減に努める。
社用車両ガソリンの節減	ℓ	1,110	1,099	334	30%	3月は翌年度の容リプラ引取の自治体挨拶のため、ガソリンの使用量が増えたが、全体を通して抑制できた。次年度は営業車を1台増車する予定なので、さらなる抑制を心掛ける。
グリーン購入の推進	購入比率	—	78.2%	36.5%	47%	エコマーク対象商品ではない消耗品の購入が多くあったため実績が下がった。

[工場]

環境目標	単位	26年度	29年度			実績評価等
		基準値	目標値	実績値	目標値比	
電力の節減	kWh	4,459,680	8,390,500	7,476,090	89%	今年度は破砕機の刃物交換等を頻繁に実施し、時間あたりの処理量を出来るだけ高く維持するなどの生産効率を上げる取り組みが結果として削減につながった。
		※1原単位(kWh/t)865	839	645	77%	
工業用水の節減	m ³	48,867	94,800	69,481	73%	今年度は担当者が代わるが多くあり、水量と水質等が安定しなかった。次年度はベテラン社員を配置し、安定した稼働に努める。
		※1原単位(m ³ /t)9.48	9.48	5.99	63%	
産業廃棄物の削減	t	2854	5432	6378.	117%	排出総量は原料ペールの投入量が増えたため比例して増えた。原単位についても品質向上の実施強化から増えてしまった。
		※1原単位(t/t)0.56	0.543	0.550	101%	
軽油の節減	ℓ	7,897	14,841	11,102	75%	電気フォークリフト導入により大幅節減できている。
		※1原単位(L/t)1.53	1.48	0.96	65%	
工場内の整理・整頓・清掃	○×	実施	○	未達	-	週末生産時間延長等、その結果メンテナンスに時間をとられ、十分に4S時間が取れなかった。生産に追われ、4S活動がまず最初に削られてしまう実態の状況を変えないと、それぞれに十分な対応が取れないことが課題。

6.平成29年度の主な環境活動計画の取り組み状況と次年度の取組内容

(1) 事務所

環境目標	取り組み	結果	評価	平成30年度予定
電力の節減 (工場の使用電力量に含む)	① 冷房28℃以上、暖房20℃以下に設定	×	夏場は気温が高く、熱中症予防もあり設定温度を下げた。過ごしやすい時期は温度を上げたり窓を開ける等して対応したい。事務所棟の蛍光灯半減は休日出勤時に実施することになっているが、定着していないので再度周知させる。	冷房、暖房の設定温度が現状と会っていないため、環境管理責任者と相談の上、設定値を検討する。PC低電力状態については、更にこまめに実施するよう呼びかける。蛍光灯半減は掲示等で周知徹底させる。
	② PC低電力状態の徹底	○		
	③ 事務所棟、応接室、ミーティングルームの蛍光灯半減化	△		
廃棄物の削減	① 通い弁当の励行	○	使い捨て容器での配達の場合はしっかり分別し再資源化した。	弊社では調整できないため、活動計画から消去する。
紙の節減	① 両面コピーの設定	○	提出用書類や審査書類等、時期によって印刷枚数が大幅に増えたが、年間を通して削減できた。	事務所人数が増えたため、使用枚数も増える見込みにある。誤印刷抑制や裏紙の使用を引き続き呼び掛けている。
	② 裏紙の使用	○		
	③ PC FAX、メール配信の活用	○		
LPガスの節減	① 用途に適した温度設定(給湯温度は40℃)	○	設定温度、使用時期はしっかり守れたが、冬期に極端に使用量が増えてしまう。こまめにスイッチを切る等して対応する。	年間の目標値を月別で設定し、使用量削減に努める。
	② 無駄な使用の抑制(3~10月は使用しない)	○		

(2) 工場

環境目標	取り組み	結果	評価	平成30年度予定
電力の節減	① 生産停止後のダラダラ運転防止(ポンプ、コンプレッサー等)	△	29年度もフル稼働状態の中で、③~⑤についてのメンテナンス時間をつくるのが難しくなった。⑥については振替運転等により引継ぎが十分にされて無かったため、消し忘れてしまった。	平成30年度も29年度と同じ稼働時間が多くなる予定なので、計画的にメンテナンスを実施する。また③と④については電力の削減につながるので取組を強化する。
	② 制御盤の不使用时ブレーカーオフ	○		
	③ 回転体巻き清掃(動力負荷低減)	×		
	④ ベルトCVの蛇行、脱落等の点検(動力負荷低減)	×		
	⑤ Vベルト、CVチェーンの緩み、空滑り等のテンション調整	×		
	⑥ 工程別換気扇の消し忘れ確認	×		
	⑦ 空運転(無負荷運転)の防止	○		
工業用水の節減	① 運転停止後の出しっぱなしの防止	△	②の項目は点検としての実施が不徹底だった。	②の点検を確実に実施し、活動達成に取り組む。
	② グランドパッキン部の点検	×		
産業廃棄物の削減	① 選別機メンテナンスの実施(ガラス面、センサーの清掃)	×	①については作業頻度の認識に誤りがあり、終日実施が週末実施となってしまった。そのほかの項目については概ね実施できた。取り組み目標として続けていく。	①は品質や生産量を定める大事な部分なので、作業が確実に実施できるよう周知し日々作業に組み込む。
	② 水切りの徹底(比重残渣、SS残渣)	○		
	③ PACの適正量使用	○		
	④ 汚泥含水率の低減化	○		
	⑤ 原料比の適正化	○		
	⑥ ダンゴ(樹脂廃棄物)の排出抑制	○		
設備の更新・改善	① 工場内及び外灯照明のLED化	—	②バッテリーフォークの導入によって、燃料削減項目が大幅に達成できた。	予算との兼ね合いもあるが、①・③・④の項目について、30年度も目標とし実施検討していく。
	② バッテリーフォーク導入	○		
	③ 破碎工程流量計の設置	△		
	④ 比重分離残渣ステーションの移設	—		
軽油の節減 (フォークリフト)	① 急停車・急発進の抑制	○	取り組みは概ね定着した。	30年度も同継続する。
	② ふんわりアクセルの実施	○		
	③ アイドリングストップの実施	○		
	④ 走行距離の短縮	○		
工場内の整理・整頓・清掃	① ベール・フレコンバック・パレット等の適正保管	○	前年度に比べて、だいぶ定着できてきた。	各項目の取組実施の定着が図れた。次年度は実施内容を向上していく。
	② 使用後の工具は、工具箱に収納する	△		
	③ 場内外に散乱した原材料は速やかに回収する	○		
	④ 4Sの実施	△		
	⑤ 段ボール、紙袋、可燃物との分別の徹底	△		
	⑥ 不用機材(渦巻き分離機、梱包機等)の処分	○		
	⑦ 不用機材(渦巻き分離機、梱包機等)の処分	○		

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

①次の環境関連法規等の要求事項、遵守状況等を一覧表に取りまとめ確認・評価した。

- ア 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)
- イ フロン排出抑制法
- ウ 富津市環境条例(騒音規制法、振動規制法)
- エ 計量法
- オ 電気事業法
- カ 富津市火災予防条例 (消防法)
- キ 君津富津広域下水道組合 下水道条例
- ク 千葉県工業用水条例 (工業用水道事業法)
- ケ 労働安全衛生法
- コ 千葉県自然環境保全条例 (緑化協定)
- サ 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)
- シ 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)
- ス 特定家庭用機器再資源化法(家電リサイクル法)
- セ 使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)
- ソ 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)

②遵守状況の確認及び評価の結果等

平成30年5月に遵守状況の確認・評価を行いました。環境法規制等の違反は一切ありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘及び訴訟等は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直し

いま一度従業員が環境活動についての認識を新たにし、確実に実施するよう努めたい。
設備の老朽化が進み、トラブルが多く発生している。
メンテナンスの強化と設備更新計画に基づく設備の改善を着実に実施していきたい。

